

東京都中央卸売市場で「千両市」が開催されました

12月18日(水)に東京都内の花き市場では、毎年恒例の千両市が一斉に開催されました。

東京都中央卸売市場の日報によると、千両市における千両総入荷数量は2,491千本で前年比108.4%と増加しました。

大田市場での取引状況を見ると、入荷量は1,255千本で前年比103.1%、うちセリ分は、数量133千本、高値1,380円/本、中値216円/本、安値45円/本という状況で、大幅な単価高となった前年程ではないが、高値傾向でした。

市場関係者によると、「昨年に引き続き台風の影響で入荷量が大幅に減少した。特に上位等級の出荷が少なく、下位等級を中心に引き合いが強く、高い相場となった。」とのこと。

都中央卸売市場における本県産の千両の取扱金額は、平成30年で2.1億円(シェア53.6%)と全国一位のシェアを占めており、次いで千葉県の1.4億円(シェア36.4%)、高知県の0.2億円(シェア4.6%)となっています。



活気のあるセリの様子



満席のセリ場の様子

都中央卸売市場千両市における千両の入荷数量の変遷

年次	H26	H27	H28	H29	H30	R1	対前年比(%)	
都中央入荷数量(千本)	2,726	2,526	2,844	2,755	2,298	2,491	108.4	
うち 大田 市場	入荷数量(千本)	1,205	1,139	1,332	1,236	1,217	1,255	103.1
	高値(円)	1,652	2,700	2,808	972	1,080	1,380	127.8
	中値(円)	155	169	89	77	330	216	65.5
	安値(円)	16	18	5	3	65	45	69.2

※都中央入荷数量は、5市場の合計

※高値、中値、安値は大田市場のセリ価格